

令和7年度 第2回南幌町地域包括ケア推進会議  
第2回南幌町高齢者虐待防止ネットワーク会議  
第2回南幌町認知症初期集中支援チーム検討委員会

日 時 令和8年2月25日(水)  
15時30分  
場 所 あいくる 2階会議室

1 開 会

2 会 長 挨 拶

3 協議報告事項

(1) 地域包括支援センターの運営(中間報告)について

(2) 地域密着型サービス事業所等運営指導結果について

(3) 指定居宅介護支援事業所の指定更新について

(4) 保険者機能強化推進交付金及び介護保険努力支援交付金の評価結果について

4 そ の 他

5 閉 会

南幌町地域包括ケア推進会議委員  
 南幌町高齢者虐待防止ネットワーク会議委員 名簿  
 南幌町認知症初期集中支援チーム検討委員会委員

(委嘱期間：令和7年4月1日～令和9年3月31日 計15名)

氏名	区分・所属
三浦航平	学識経験者 医療法人やわらぎ 本部長
藤井省吾	学識経験者 社会福祉法人南幌福祉会 南幌みどり苑 支援部長
加藤久尚	医療関係者 加藤歯科 院長
棟方智子	医療関係者 町立南幌病院 副院長
大沼笑子	医療関係者 町立南幌病院 看護師長
苫米地拓也	介護保険サービス事業関係者 社会福祉法人南幌福祉会 南幌みどり苑 業務係長
山田美幸	介護保険サービス事業関係者 医療法人やわらぎ 居宅介護支援事業所アザレア 管理者
道辰公人	介護保険サービス事業関係者 グループホーム福音の家 管理者
藤井弘子	各種関係団体 人権擁護委員
本間秀正	各種関係団体 南幌町社会福祉協議会会長
林 仁	各種関係団体 南幌町民生委員児童委員協議会会長
三歩幸光	各種関係団体 南幌町老人クラブ連合会会長
永原隆夫	町民 南幌町区長会会長
高田榮子	各種関係団体 南幌町ボランティア活動の会副会長
明地直美	町民 ボランティア登録者

【事務局：高齢者包括係】

職名	氏名	職名	氏名
課長	谷藤朋代	主事	中川雄陽
参事	蛭沢千晴	管理栄養士	千頭樹
課長補佐	三浦早苗	生活支援コーディネーター (社会福祉協議会)	梶田しのぶ
係長	紺野智美		
主任	辻脇まどか		

# 地域支援事業（4月～12月）

## 【目的】

地域支援事業は、介護保険法に基づき、被保険者が要介護状態又は要支援状態となることを予防し、社会に参加しつつ、地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援することを目的とする。

## 1. 一般介護予防事業

### ■介護予防・日常生活支援総合事業（一般介護予防事業）

高齢者を年齢や心身の状況等によって分け隔てることなく、住民運営の通いの場を充実させ、人と人とのつながりを通じて、参加者や通いの場が継続的に拡大していくような地域づくりと、要支援・要介護状態になっても、生きがい・役割をもって生活できる地域づくりを推進する。

事業名	【介護予防普及啓発事業】快足シャキッと倶楽部									
目的	外出の機会を多く持ち、寝たきりの原因となる転倒骨折を予防し、自ら生きがいをみつけ、自立した生活を維持する。									
対象	65歳以上の方									
令和7年度 計画										
日程	あいくる（火曜日・金曜日）月に5～7回 ふれあい館（木曜日）月に3～4回									
場所	あいくる、夕張太ふれあい館									
スタッフ	健康運動指導員、保健福祉課職員									
内容	体操（基礎、筋力アップ）									
令和7年度 中間実績										
実績	■あいくる									
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	中間計
	4回	7回	6回	8回	7回	7回	7回	6回	6回	58回
	110人	181人	153人	217人	195人	163人	187人	115人	138人	1459人
	1回平均： 25.2人／新規5人									
	■夕張太									
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	中間計
	2回	4回	3回	4回	3回	4回	3回	4回	3回	30回
	18人	29人	24人	27人	30人	38人	26人	38人	35人	265人
	1回平均： 8.8人／新規1人									

事業名	【介護予防普及啓発事業】男の料理教室									
目的	男性が買い物、料理などの手段的日常生活動作の自立を目指し、さらに運動、趣味の発見の機会とすることをねらいとする。									
対象	概ね65歳以上の男性									
令和7年度 計画										
日程	年6回（奇数月）									
内容	バランスのよい献立、調理の方法、健康講話									
スタッフ	管理栄養士、保健師、保健福祉課職員、ボランティア（各回2～3人）									
令和7年度 中間実績										
実績	4回 実人員：17人（新規4人） 延べ参加者数：44人 ボランティアの協力を得ながら実施。									

事業名	<b>【介護予防普及啓発事業】高齢者水中運動教室</b>
目的	高齢者に対して水中運動を行うことにより、介護の重度化を予防し、自立と生きがいのある生活を助長する。
対象	40歳以上の方(令和6年度から40歳以上に変更)
令和7年度 計画	
日程	○水曜日コース 5月～9月(全16回)
場所	南幌町町民プール
内容	ストレッチ、水中歩行運動
令和7年度 中間実績	
実績	○5月14日～9月24日 毎週水曜日(全16回) 登録人数：16人(新規5人) 延べ参加者数：171人 1回平均参加者数：10.7人

事業名	<b>地域リハビリテーション活動支援事業</b>
目的	地域での介護予防・自立支援を促進するため、身近な場所での介護予防の取り組みを支援する。
対象	単位老人クラブ・カフェサロン等地域で活動する団体
令和7年度 計画	
内容	地域での元気高齢者の集まりにリハビリ専門職員等を派遣し、介護予防に資する知識の普及や技術への助言、レクリエーションなどを行い、地域での介護予防の取り組みを支援する。
スタッフ	町内医療機関・介護事業所のリハビリテーション専門職等、保健師
令和7年度 中間実績	
実績	4回 カフェサロンひまわり 5月26日 老健ゆう 理学療法士 カフェサロン寿 6月20日 町立南幌病院 理学療法士 8区歳鶴会 7月16日 特養みどり苑 作業療法士 北町そよ風会 9月1日 特養みどり苑 作業療法士

事業名	<b>【介護予防普及啓発事業】高齢者いきいき健康マーじゃん</b>
目的	健康マーじゃんを通じて、高齢者の仲間づくり、生きがいづくりを図りいきいきと暮らせる高齢者の健康づくりを目的とする。
対象	60歳以上の方等
令和7年度 計画	
日程	4月1日～3月31日の週1回程度開催(火曜日開催) 13時～16時
場所	教養娯楽室
内容	「賭けない、吸わない、飲まない」健康マーじゃん ※社会福祉協議会へ事業委託
スタッフ	地域のボランティア(講師)
令和7年度 中間実績	
実績	36回実施(延べ参加人数 1,043人/※1回平均 29人=平均7卓) 参加登録者人数 123人(男53人/女70人)、講師4人 9月9日 マーじゃん大会を開催 参加者 31名 2月25日老連との親睦大会実施予定 初心者コースを設けることにより登録者が増え、講師の活躍の場を増やしている。

事業名	【健康教育・健康相談】									
目的	介護予防、疾病予防に関する正しい知識を普及する。									
対象	単位老人クラブなど									
令和7年度 計画										
内容	介護予防・健康づくりに関する講話 感染症の動向を踏まえ、臨機応変に健康教育を実施する。									
日程	随時									
場所	各地域の会館等									
令和7年度 中間実績										
実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	中間計
	1回	1回	2回	2回	0回	3回	2回	2回	0回	13回
	28人	25人	37人	31人	0人	55人	65人	36人	0人	277人
<p>(内訳) 老人クラブ：12回 236人、職員出前講座(中学3年生)：1回 41人</p> <p>■講話内容 オーラルフレイル/熱中症予防(涼み処) /エンディングノート/聞こえについて 認知症サポーター養成講座/認知症の理解(MCI) /フレイル(低栄養・運動) マゴコロボタン</p>										

事業名	【地域介護予防活動支援事業】地域づくりサロン運営費(なんぼろカフェサロン) 補助金									
目的	地域の自主グループが開催運営する高齢者が気軽に集まることのできる地域づくりサロンの活動に要する経費に対して補助することで、高齢者の生きがいづくりと介護予防を図るとともに、社会的孤立感の解消や地域での支え合い体制を推進する。									
対象	65歳以上の方									
令和7年度 計画										
交付対象	目的の活動を実施しようとするグループ									
場所	地域の会館、公共施設等									
内容	令和2年度より社会福祉協議会へ事業を委託。生活支援コーディネーターと連携をとり、気軽に参加できる集いの場として町民への周知を図っていく。									
その他	■意見交流会の開催：高齢者の見守り等説明、サロン同士の意見交流会									
令和7年度 中間実績										
内容	補助金の交付 ①事業立ち上げ費(初回のみ) 10万円以内 新規立ち上げ 実績なし ②運営費 開催1回につき 1,000円									
その他	意見交流会 令和7年12月「カラダを動かすとココロが整うしくみ」山本沙奈絵運動指導員 令和8年3月実施予定									
サロン名	① ゆい(シルバー)	平成27年	6月	立ち上げ	開催予定回数	24回				
	② 桜(夕張太)	平成27年	10月	立ち上げ	開催予定回数	23回				
	③ ひまわり(北町)	平成28年	7月	立ち上げ	開催予定回数	19回				
	④ 寿(15区)	平成29年	3月	立ち上げ	開催予定回数	20回				
	⑤ 西町	平成29年	3月	立ち上げ	開催予定回数	24回				
	⑥ 鶴城(冬季のみ)	平成30年	12月	立ち上げ	開催予定回数	10回				
	⑦ スマイル(14区)	令和2年	7月	立ち上げ	開催予定回数	22回				

## 2. 介護予防・生活支援サービス事業

### ■介護予防・日常生活支援総合事業（介護予防・生活支援サービス事業）

平成29年度から介護予防・日常生活支援総合事業を開始し、従来の訪問介護（ホームヘルプサービス）、通所介護（デイサービス）を介護予防・生活支援サービス事業として実施した。

地域の実情に応じて、住民等多様な主体が参画し、多様なサービスを充実させることにより、地域の支え合い体制づくりを推進していく。

事業名	介護予防・生活支援サービス事業
目的	地域の実情に応じて、住民等多様な主体が参画し、多様なサービスを充実させることにより、地域の支え合い体制づくりを推進し、要支援者等に対する効果的かつ効率的な支援を行う。
対象	要支援認定の方・チェックリスト実施対象の方
令和7年度 計画	
内容	<p>介護予防・日常生活支援総合事業のサービスの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者事業団へ委託する住民主体の訪問型サービスの実施・支援</li> <li>・新たな多様なサービス実施への検討</li> </ul>
令和7年度 中間実績	
内容	<p>①介護予防・日常生活支援事業総合事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■サービス事業者の指定 <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;訪問型サービス&gt; <ul style="list-style-type: none"> <li>事業所数 3事業所</li> </ul> </li> <li>&lt;通所型サービス&gt; <ul style="list-style-type: none"> <li>事業所数 3事業所</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>■サービスの実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;訪問型サービス（住民主体のサービス）&gt; <ul style="list-style-type: none"> <li>○南幌町高齢者事業団 <ul style="list-style-type: none"> <li>【サービスの内容】～清掃（室内・トイレ・浴室）、洗濯、ゴミ処理</li> <li>利用者 1名（要支援2の方）</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>

### 3. 包括的支援事業

地域のケアマネジメントを総合的に行うために、介護予防ケアマネジメント、総合相談や支援、権利擁護事業、ケアマネジメント支援を実施する。

#### <包括的支援事業（地域包括支援センターの運営）>

事業名	家庭訪問
対象	65歳以上の方
令和7年度	計画
内容	訪問により、要介護認定を受け必要なサービス利用に至っていない方の支援や支援困難事例など介護支援専門員の後方支援としての訪問活動を行う。高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に関する取り組みを継続する。KDBデータを利用し、生活習慣病等の重症化予防に関わる相談・指導、健康状態が不明な高齢者の実態把握、必要なサービスへの接続等の支援を行う。
令和7年度	中間実績
実績	505件（新341件、再164件） ※11月末まで

事業名	総合相談窓口
対象	65歳以上の方やその家族等
令和7年度	計画
内容	サービスに関する情報提供等の初期相談対応や、継続的・専門的な相談支援（様々なサービス等の利用へのつなぎ）を実施する。また、民生委員児童委員、人権擁護員、老人クラブ会長を在宅高齢者相談協力員として委嘱し、地域で広く高齢者の相談に応じる体制を整備し、連携を図る。
令和7年度	中間実績
実績	電話：432件／来所：235件／その他：5件 ※11月末まで

事業名	高齢者虐待防止ネットワーク事業
根拠・通知	介護保険法、高齢者虐待防止法
目的	高齢者虐待の予防・早期発見・早期対応・再発防止を図り、高齢者の平穏な生活を確保する。
令和7年度	計画
内容	関係機関との連携を密にすることで今後も迅速な対応に努める。
令和7年度	中間実績
実績	高齢者虐待取扱い件数 1件 町内関係者及び町民への高齢者虐待防止周知・普及

事業名	地域包括ケア推進会議	
目的	住み慣れた地域で自分らしく生活できるために、介護・医療・住まい・生活支援・介護予防が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」を推進するために開催する。	
令和7年度	計画	
内容	<p>高齢者の実態把握や地域課題を把握するため、地域の関係機関等との連携を高め、地域に必要な取組などを明らかにするなど、適切な支援体制に関する検討を行う。</p> <p>① 地域支援事業や高齢者福祉事業の推進及び支援          ② 地域包括支援センターの運営・評価 ③高齢者虐待に関する実施評価について          ④ 地域密着型サービス事業の運営、効果的な支援の評価</p>	
令和7年度	中間実績	
日程	第1回目開催日：8月1日（金）実施 委員14名出席	
場所	あいくる	

事業名	地域ケア個別会議	
目的	様々な課題を抱えた高齢者	
令和7年度	計画	
内容	<p>さまざまな課題を抱えて生活する支援困難事例が増えており、会議を通じた地域の資源の利活用や他職種の協働により、自立した日常生活を営めるよう支援を行う。本会議の機能を発揮することおよび町全体の介護予防ケアマネジメントの質の向上を目指して自立支援型地域ケア会議を実施していく。</p>	
令和7年度	中間実績	
①地域ケア個別会議の実施		
内容	支援困難高齢者に対して課題を解決するため、地域や多職種の協働により個別の支援内容の検討を行う。	
会議ケース	1件	
②自立支援型地域ケア個別会議の実施		
内容	高齢者の自立支援と重度化防止に向けて、従来からの医療と介護の連携素地を有効活用し、多職種での検討によるケアマネジメントの支援を行う。	
会議ケース	2件	

事業名	在宅医療・介護連携推進事業	
目的	高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最期まで続けることができるよう、在宅医療と介護を一体的に提供するために、医療機関と介護事業所等の関係者の連携を推進する。	
令和7年度	計画	
内容	① 連携会議の定例実施 保健福祉医療サービス調整推進会議・保健福祉医療連絡会議 ② 地域での連携を推進するために、学習テーマを設けて研修会を開催する。 ③ 医療・介護連携を円滑に進めるためのツールやICT化の検討	
令和7年度	中間実績	
実績	連携会議の定例実施 保健福祉医療サービス調整推進会議 9回実施 うち2回は自立支援型地域ケア個別会議として実施	

事業名	生活支援体制整備事業	
目的	生活支援サービスを担う事業主体と連携しながら、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を一体的に図る。	
令和7年度	計画	
内容	令和2年度より社会福祉協議会へ事業を委託しており、引続き連携を図り住民の活動の場へ赴き、住民とともに地域づくりを念頭に置いた活動の推進を図っていく。	
令和7年度	中間実績	
実績	生活支援コーディネーターが地域へ赴き、地域での活動や課題の把握に努め、地域づくりの担い手となるボランティア育成のため研修会を開催、新たな活動の場の相談や活動支援など持続的に活動を行っている。	

事業名	【認知症総合支援事業①】認知症初期集中支援推進事業
目的	認知症になっても、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けられるために、効果的な支援が行われる体制を構築する。
令和7年度 計画	
内容	<p>① 認知症初期集中支援チームでの支援</p> <p>② 複数の専門職で、認知症が疑われる人、認知症の人とその家族に対し、初期の支援を包括的・集中的に行い支援する。</p> <p>③ チーム員会議 月1回開催予定</p> <p>④ 認知症初期集中支援チーム検討委員会の開催 年2回</p>
令和7年度 中間実績	
実績	<p>・認知症初期集中支援チーム 対象者：0件（前年度からの継続0件） 認知症が疑われ、介護・医療サービスを受けていない、または中断している方。 サービスを受けているが症状が顕著で対応に苦慮している方。 認知症サポート医：ポロナイクリニック 高塚精神科医師⇒町立南幌病院 柳谷医師 チーム員：保健師2名、介護福祉士1名 チーム員会議：0回開催</p> <p>・認知症初期集中支援チーム検討委員会の開催 1回 ※地域包括ケア推進会議と同時開催</p>

事業名	【認知症総合支援事業②】認知症地域支援・ケア向上事業
目的	認知症になっても、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けられるために、効果的な支援が行われる体制を構築する。
令和7年度 計画	
内容	<p>地域の実態に応じた認知症施策の推進にむけ研修等参加し学びを深める。 また、医療機関や介護サービス等地域の支援機関との連携を図り、認知症の方やその家族を支援していく。 認知症についての理解を深めていくことを目的に普及啓発に向けて具体的に検討、実践していく。</p>
令和7年度 中間実績	
実績	<p>①認知症地域支援推進員の配置 4名配置：社会福祉士、保健師、介護福祉士 広報9月号掲載、9月アルツハイマー月間に合わせたパネル展、ぼろろでの本紹介 認知症サポーター養成講座の周知</p>

## 4. 任意事業

地域の高齢者が、住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるようにするため、地域の実情に応じた必要な支援を行うことを目的とする。

事業名	<b>介護給付費等費用適正化事業</b>	
目的	利用者に適切なサービス提供とケアプラン作成の向上を図り介護給付費の適正化につなげる。	
令和7年度	計画	
内容	町の介護給付の動向を把握した上で、居宅介護支援事業所の介護支援専門員とケア計画やサービス提供状況など情報交換や計画とサービス内容の検討を行う。 また、医療給付情報突合リストの確認も引き続き行う。	
令和7年度	中間実績	
実績	令和7年12月17日実施 居宅介護支援事業所アザレアにおけるケアプランの点検を実施	

事業名	<b>【家族介護支援事業】介護者サロン</b>	
目的	介護者が高齢者に関する正しい知識を得ることができ、介護者同士が交流することにより心身のリフレッシュを図る。	
対象	要介護者を介護する家族等	
令和7年度	計画	
内容	参加者が参加しやすいように曜日を固定せず、年6回行う。適切な介護認識の習得、サービス利用に向けての情報提供、介護者同士の情報交換や交流を行う。	
令和7年度	中間実績	
実績	5回 延べ参加者数8名 実人数10名 毎回テーマを設けて情報提供と、介護者同士の交流を実施。	

事業名	【家族介護支援事業】認知症高齢者見守り事業
目的	認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくりの推進を図る。
令和7年度 計画	
内容	<p>認知症に関する正しい知識の普及・啓発、地域全体で見守りをすすめる認知症サポーターの養成等を行っていく。</p> <p>&lt;認知症サポーター養成講座&gt; 認知症の正しい理解のためサポーター養成講座の実施</p> <p>&lt;認知症高齢者等SOSネットワーク事業&gt; 所在不明となった認知症高齢者を関係機関の連携で速やかな発見・保護とその後の予防、登録を行い、見守りを整備する。</p> <p>&lt;安全安心見守りネットワーク事業&gt; 高齢者や障害者、子供の見守りを必要とする方を町と民間事業所等が連携し、異変を早期発見し必要な援助をし、住み慣れた地域で安全安心に生活できるようにする。</p> <p>&lt;認知症高齢者等見守り機器貸与支援事業&gt; 徘徊行動のみられる（または恐れのある）認知症高齢者等やご家族にGPS端末機※を貸与し、安心な生活を支援する。（SOSネットワークへの登録必須）</p> <p>※パソコンや携帯電話から位置情報を確認できる。</p>
令和7年度 中間実績	
実績	<p>■認知症サポーター養成講座 1回実施 10月3日 南幌中学校3年生 41人</p> <p>■安全安心見守りネットワーク登録事業者 13社</p> <p>■認知症高齢者等見守り機器貸与支援事業 GPS貸出し件数 3件 ※新規 0件 返還 2件</p>

事業名	【地域自立生活支援事業】配食サービス
目的	高齢者の地域における自立した生活を継続できるよう推進するための事業を実施する。
対象	低栄養や認知症、退院時の虚弱等の理由により食事の支度が困難な65歳以上の独居・高齢者夫婦世帯。
令和7年度	計画
内容	管理栄養士のアセスメントにより配食サービスを実施する。 また、自立を促進するために管理栄養士による訪問を実施する。 申請受理時、定期的に管理栄養士による食のアセスメントを行っていく。
令和7年度	中間実績
実績	延べ利用者数：198人 ※12月利用の実人数22人 食数：延べ 4,753食

事業名	【地域自立支援支援事業】シルバーハウジング生活援助員配置事業
目的	道営シルバーハウジングに居住している高齢者
令和7年度	計画
内容	生活援助員を派遣して生活指導・相談・安否確認、一時的な家事援助、緊急時の対応等のサービスを提供し、入居者が自立し、安全かつ快適な生活を営むことができるよう在宅生活を支援する。また、集会場で実施する介護予防事業にも参加協力し、入居者が事業に参加しやすい環境づくりを進める。引き続き生活援助員の派遣を継続していく。
令和7年度	中間実績
実績	入居者20世帯の在宅生活の支援を行う。 ■生活相談：延べ89件（健康相談、介護サービス相談、日常生活相談、その他） ■生活援助：延べ374件（身の世話、ゴミ回収、服薬確認、体調不良対応、その他）

＜高齢者在宅支援事業＞

事業名	<b>あんしんキット見守り事業</b>
根拠・通知	事業実施要領（町単独）
目的	かかりつけ医や服薬の内容、緊急連絡先を記入し容器に入れ冷蔵庫に保管することにより、緊急時、本人が話せない状態であっても救急隊員、医療従事者等に必要な情報伝達と迅速な対応を図り、人命の安全を確保する。
対象	65歳以上の単身世帯、高齢者夫婦世帯、その他世帯（高齢者のみの世帯等） ※4月1日現在で、新たに65歳になった方を訪問 ※転入された世帯やこれまでの未設置世帯（70歳・75歳到達者）
令和7年度 計画	
内容	新規対象者等に民生委員の協力により「あんしんキット」を配布する。 既設置者には広報等にて情報用紙内容確認・修正の周知をする。
令和7年度 中間実績	
実績	配布者数35人／用紙回収34人／更新74人 全体配布数1,135人（うち75歳以上799人） ※あんしんキットの数値については、令和8年2月1日現在

事業名	<b>福祉用具相談・福祉用具レンタル事業</b>
根拠・通知	なし（町単独）
目的	介護保険適用外の高齢者、又は要介護認定者で、一時的な退院等で福祉用具を必要とする者など
令和7年度 計画	
内容	退院に向けての在宅生活への移行のための外泊期間中に自立を支援するための福祉用具一時的な貸し出しを実施する。 介護給付が始まる前の方や介護保険サービスで対応できない方へ必要時貸し出しを行う。
令和7年度 中間実績	
実績	11件 歩行車0件、杖0件、四点杖0件、歩行器0件、シャワーチェア3件、ポータブルトイレ6件、バスグリップ2件

事業名	<b>緊急通報装置設置事業</b>		
根拠・通知	事業実施要綱（町単独） ※ふるさと応援寄付金活用事業		
対象	①75歳以上の1人暮らしの方 ②おおむね65歳以上の1人暮らしの方で、健康状態、身体状況又は日常生活動作に支障がある方 ③65歳以上の高齢者夫婦のみの世帯で、次のいずれかに該当する方がいる世帯（ア 重度障がい者、イ 要介護3以上の認定者）		
令和7年度 計画			
内容	緊急通報装置（端末機、ペンダント式発信機）の無償貸与。		
場所	（★利用者負担：発信に係る通話料）		
内容	南空知消防組合南幌支署に設置しているセンター装置の更新を行う。（令和8年3月予定）		
令和7年度 中間実績			
実績	■設置台数 70件 【内訳】①シルバーハウジング 20件 ②一般住宅 50件（新規設置1件） ■撤去件数 5件（転居1件、利用辞退（入院等）3件、死亡1件）		

事業名	<b>高齢者等住宅屋根雪下ろし助成事業</b>		
根拠・通知	事業実施要綱（町単独） ※ふるさと応援寄付金活用事業		
対象	町内に住所を有し、一戸建て住宅（借家を含む。）に居住する世帯全員の町民税が非課税で、次のいずれかに該当する世帯 ①65歳以上の高齢者のみの世帯 ②障がい者が属する世帯（身体障害者手帳1級及び2級、療育手帳A、精神障害者保健福祉手帳1級と判定された者） ③ひとり親世帯（18歳以下の子とで構成する世帯）		
令和7年度 計画			
内容	1回の雪下ろしに要した費用の3分の2の額に対し、3万円を上限とし、助成対象期間（1月～3月）に2回まで助成する。  住民に周知し事業を行っていく。		
令和7年度 中間実績			
実績	広報11月号にて周知 令和7年度 登録者数 13名 利用状況 0名、0回助成		
参考	令和6年度 登録者数 13名 利用状況 4名、4回助成		

事業名	除雪サービス事業								
根拠・通知	事業実施要綱（町単独） ※ふるさと応援寄付金活用事業								
対象	<p>身体状況等の理由により、自力除雪が困難な下記の世帯</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 70歳以上の方のみの世帯</li> <li>2. 要介護1から要介護5までの認定を受けた方のみの世帯</li> <li>3. 重度身体障がいを持った方のみの世帯</li> <li>4. 精神障がいを持った方のみの世帯</li> <li>5. 知的障がいを持った方のみの世帯</li> <li>6. 上記に掲げる方のみの世帯</li> <li>7. シルバーハウジングに入居している世帯</li> </ol>								
令和7年度 計画									
内容	<p>【除雪範囲】①公道から住宅まで（おおむね距離10m、幅1.2m程度）の除雪（※人力、又は除雪機による除雪）</p> <p>②公道除雪が終えた後の自宅間口に残る雪の除雪（※除雪作業車による除雪）</p> <p>【利用料金】1シーズン（公道除雪期間：12月1日～3月31日）下記の金額</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>①課税世帯</td> <td>：6,000円</td> </tr> <tr> <td>②課税世帯（均等割のみ）</td> <td>：5,000円</td> </tr> <tr> <td>③非課税世帯</td> <td>：4,000円</td> </tr> <tr> <td>④シルバーハウジング入居世帯</td> <td>：1,000円</td> </tr> </table>	①課税世帯	：6,000円	②課税世帯（均等割のみ）	：5,000円	③非課税世帯	：4,000円	④シルバーハウジング入居世帯	：1,000円
①課税世帯	：6,000円								
②課税世帯（均等割のみ）	：5,000円								
③非課税世帯	：4,000円								
④シルバーハウジング入居世帯	：1,000円								
令和7年度 中間実績									
実績	<p>令和7年10月1日より受付開始</p> <p>令和7年度の利用件数84件（新規12件／継続72件）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①公道から住宅までの除雪32件（高齢者事業団による除雪）</li> <li>②自宅間口の除雪42件（南幌道路維持事業組合による除雪）</li> <li>③農家地区10件（法人等による除雪）</li> </ol>								

事業名	【新規】高齢者安否確認システム運用事業 令和7年4月より開始
根拠・通知	事業実施要綱（町単独）
目的	ひとり暮らし高齢者の生活不安の解消、生命の安全と福祉の増進を図る。
対象	在宅で生活する75歳以上のひとり暮らしの者
令和7年度 計画	
内容	<p>高齢者の安否確認をする手段として、「マゴコロボタン」という簡単に操作できる機器を対象者のうち、希望する者に設置する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①「マゴコロボタン」の貸与</li> <li>②「マゴコロボタン」の押下状況による安否確認の実施</li> </ol>
令和7年度 中間実績	
実績	<p>令和7年9月16日より設置開始</p> <p>申請 45件    設置数 42件    申請取下げ 3件</p>

## 地域密着型介護サービス事業所・居宅介護支援事業所について

### 1 事業所指導実施結果について

#### ① 運営指導

介護保険法及び南幌町指定介護保険事業者等指導及び監査実施要綱の規定に基づき、町職員が介護事業所へ出向き、下記のとおり運営指導を行いました。

#### 主な確認事項

- 利用者の生活に関すること：行動障害のある方へのケア、入居状況等
- 人員に関すること：人員基準、管理者の責務、介護従事者の質の向上等
- 設備に関すること：設備基準
- 運営に関すること：金銭管理の状況、身体拘束廃止及び虐待防止への取り組み、自己評価・外部評価の実施状況、介護計画・介護記録、家族との連携、業務継続計画の策定、地域との連携・運営推進会議の実施状況等
- 報酬請求に関すること：報酬請求、各種加算及び減算等

【事業所名】 グループホームみどり野の郷

【実施日】 令和7年10月30日

【結果】 運営が適正に行われている。

【事業所名】 グループホーム福音の家

【実施日】 令和7年11月6日

【結果】 運営はおおむね適正に行われているが、いくつか口頭指導を行った。

【事業所名】 居宅介護支援事業所アザレア

【実施日】 令和7年12月17日

【結果】 運営が適正に行われている。

#### ② 集団指導

【実施予定日】 令和8年3月23日実施予定

【対象事業所】 地域密着型サービス事業所（5事業）の管理者

### 2 事業所の指定更新について

【対象事業所】 居宅介護支援事業所アザレア、南幌みどり苑居宅介護支援事業所

南幌町指定居宅介護支援事業所及び指定介護予防支援事業所の指定等に関する規則に基づき、必要書類の提出を求め確認を行いました。書類審査の結果、特に指定更新の支障となる事項は認められなかったことを報告します。

## 保険者機能強化推進交付金・保険者努力支援交付金について

### 制度の概要

平成29年地域包括ケア強化法において、高齢者の自立支援・重度化防止等に向けた保険者の取組や都道府県による保険者支援の取組が全国で実施されるよう、PDCAサイクルによる取組が制度化されました。

この一環として、自治体への財政的インセンティブとして、市町村や都道府県の様々な取組の達成状況を評価できるよう客観的な指標を設定し、市町村や都道府県の高齢者の自立支援、重度化防止等に関する取組を推進するための保険者機能強化推進交付金が創設されました。

令和2年度においては、公的保険制度における介護予防の位置付けを高めるため、保険者機能強化推進交付金に加え、保険者努力支援交付金を創設し、介護予防・健康づくり等に資する取組を重点的に評価することにより配分基準のメリハリ付けが強化されました。

### 評価指標と評価結果

町民や関係機関等との情報共有を図るため、町の取組状況について評価結果を報告します。

#### 令和7年度評価指標配点

		市町村配点				南幌町得点			
		体制・取組 指標群	活動 指標群	小計	成果 指標群	体制・取組 指標群	活動 指標群	小計	成果 指標群
保険者 機能強 化推進 交付金	目標Ⅰ：持続可能な 地域のあるべき姿を かたちにする	64	36	100	100	56	6	62	75
	目標Ⅱ：公正・公平な 給付を行う体制を構 築する	68	32	100		12	20	32	
	目標Ⅲ：介護人材の 確保その他のサービ ス提供基盤の整備を 推進する	64	36	100		28	9	37	
介護保 険保険 者努力 支援交 付金	目標Ⅰ：介護予防/日 常生活支援を推進す る	52	48	100	100	31	34	65	75
	目標Ⅱ：認知症総合 支援を推進する	64	36	100		29	24	53	
	目標Ⅲ：在宅医療・在 宅介護連携の体制を 構築する	68	32	100		48	14	62	
合計		プロセス指標	アウトプット・アウトカム 指標		プロセス指標	アウトプット・アウトカム 指標			
		380	420		204	257			